

## 2年次講演会「あきらめない心」を行いました。

### 「ほけんだより」より

日時：1月19日（金）本校アリーナ

対象：2年次全員

講師：伊藤 真波さん

演題：「あきらめない心」

伊藤さんは事故で片腕をなくされた後、日本初片腕義手の看護師として、また、2008北京・2012ロンドンパラリンピック競泳日本代表としてご活躍されました。現在は一児の母として、育児と講演活動を両立させておられます。

義手によるバイオリン演奏も披露していただき、生徒たちの心にきっと強く響いたことと思います。

ほんの一部しか紹介できませんが、講演後のアンケートには、生徒たちが感じたこと、思いがしっかりと書かれていました。

率直にとってもカッコいいなと思いました。  
親に正面から感謝を伝えられないけど、親孝行したいと思いました。

バイオリンの演奏にとっても感動し、涙が出ました。演奏を聴いて涙が出たのは初めてです。力強く、美しかったです。

自分には夢がなく、それがダメなことだと思っていたので、伊藤さんが最後に夢がなくたっていいと言っていたのが嬉しいというか安心できました。どんな自分になりたいか、今のうちに考えて、周りに流されずに信念を持って生きようと思いました。



私も看護師になろうという夢を持っています。どんな将来であったとしても、絶対にあきらめないという気持ちは大切だと感じました。自分に今出来ることを一生懸命に頑張りたいと思います。

今までたくさん命の授業があったけど、その中で一番心に残った講演会でした。ポジティブに明るく生きている姿を見て、自分の悩みなんて小さいものだと感じさせられました。

『夢に生かされている』という言葉がとても心に残りました。その夢に向かって突き進む原動力が欲しいなと思いました。